

山梨県水産技術センター・研究課題事前評価表
山梨県水産技術センター課題評価委員会
(平成26年8月19日開催)

試験・研究課題名

大課題名：養殖効率の向上

小課題名：低魚粉飼料でのニジマス成長優良系統の選抜試験(H27～31)

担当者名：研究員 三浦 正之

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	魚粉価格が高騰し続けるなか、低魚粉飼料の普及は不可欠であり、社会的ニーズは高い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	低魚粉飼料を用いた飼育選抜試験はニジマスでは例はなく、新規性は高い。
3 目的・内容の整合性 妥当性	4 / 5	目的、内容は概ね妥当であるが、品質やブランドの維持、生産コストの低減なども評価項目に加えた方が良い。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	選抜試験がうまくいかなかった場合の対応策も検討しておいた方が良い。
5 成果の期待度	5 / 5	県内におけるサケ・マス類の生産量、生産額のさらなる向上を目指す上で、本課題への期待度は高い。
総合評価	5 / 5	山梨県の淡水魚の養殖振興策のひとつとして、本課題に対する期待度は高い。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

養殖用飼料の低魚粉化を進めていくために、本研究の主題である育種に重点を置きながら、コスト、品質等についても検討して参りたい。また、状況に応じ他系統での選抜効果についても検討を行いたい。